

オープンセミナー 紛争地における安全管理 要項

日時：2024年2月17日（土）13時～18日（日）17時

会場：大阪赤十字病院本館5階 第2会議室

近年ウクライナやガザでの人道危機をはじめとして各地で武力衝突が起こっており、それに伴い、紛争トーンの高い地域で活動する人も増えています。

赤十字国際委員会（ICRC）は、これまで「**Staying Alive**」という、紛争地での安全管理の概論を書いた小冊子を作っていましたが、昨年これを全面改訂し、国際要員に目線を合わせて紛争地での安全管理のテキスト「**SAFE Security and Safety Manual for Humanitarian Personnel**」を上梓しました。これを土台とし、人道支援に従事する専門家と共に体系的に紛争下での安全管理について、ディスカッションを交えながら掘り下げたいと考えています。

- プログラム：
- | | |
|------------------|-----------------|
| ・ 概論 | ・ 現場活動における安全管理 |
| ・ 安全管理に関わる国際人道法 | ・ 重大事案（拉致、誘拐等） |
| ・ 紛争地での活動に赴く前の準備 | ・ メディア対応（SNS含む） |
| ・ 戦闘員の分析 | ・ 健康管理（心のケア含む） |
| ・ 紛争下のフィールドトリップ | ・ 情報源 |
| ・ 宿舎 | ・ 最近の現場から |

講師： 齋藤之弥 日本赤十字社本社国際部 参事（派遣、研修、安全管理）
眞壁仁美 ICRC 駐日事務所 広報統括官
齊藤彰彦 日本赤十字国際人道研究センター 所員（国際人道法専門）
中出雅治 大阪赤十字病院国際医療救援部 部長
（調整中）国境なき医師団日本 安全管理担当

対象：

- ・ 2日間全日程参加可能であること。
- ・ 以下のいずれかに該当することが望ましい。
 - ・ 過去に紛争地、準紛争地での活動経験がある
 - ・ 今後紛争地、準紛争地で活動する予定がある
 - ・ 上記のような職員を管理する立場にある
- ・ 所属施設、職種は問いません。

応募方法：<https://forms.gle/dFZp5EE7VjwbBuT87>

締め切り：2024年1月14日（日）

定員：最大25名（応募者多数の場合はこちらで選考、1月15日メールでお知らせします）

参加費：無料

お問い合わせ：大阪赤十字病院国際医療救援部 imr@osaka-med.jrc.or.jp

TEL: 06-6774-5030（オフィス直通） 担当 片山、三浦